

『第44回 歴史文化教室』

主催 乙訓の文化遺産を守る会



復元された形象埴輪列



継体天皇は、近江高嶋に生まれ越前で王位につきました。西暦 507 年 58 歳にして求められ天皇となりましたが、淀川水系で転々と遷都を繰り返しました。枚方の樟葉の宮、京田辺の筒城宮、長岡京乙訓寺付近比定の弟国宮です。20 年後大和に入って磐余玉穗宮に都しましたが、531 年崩御し茨木市の三島藍野陵（太田茶臼山古墳）に葬られました。ところが高槻市の今城塚古墳が本来の継体陵と言われ、10 年前から発掘が続けられてきました。結果内堤から 113 体の形象埴輪を並べた日本最大の壮大な祭祀区などが発見されました。今年 4 月に整備公開されたばかりの復元祭祀区を持つ「今城塚古墳」と「古代歴史館」を訪れ、発掘担当者の講演をお聞きし、乙訓とも関係の深い古代最大のミステリー継体天皇の謎に迫りたいと思います。

日 時	4月17日（日）13時（雨天決行）
集合場所	JR摂津富田駅 西口バス停前
講 演	高槻市教育委員会 森田克行 氏
費 用	各自支払（往復市バス代、入館料 特別展 200 円）

- 申 込
- ① 「乙訓の文化遺産を守る会」のホームページ (<http://otubun.org>) からメールをお送りください
 - ② お電話 (075 933 8790 坂下) 下さい
 - ③ 申込みいただかなくても当日集合場所にお越しいただいても結構です

「乙訓の文化遺産を守る会」 京都府向日市上植野町地後 10-12（坂下勝美宅）